



「見たり、聞いたり、探ったり」No.302

通算 No.453

青木行雄

2025年、大阪・関西万博。「日本国際博覧会」

期間 2025年4月13日(日)～10月13日(月)

時間 午前9時から午後10時まで

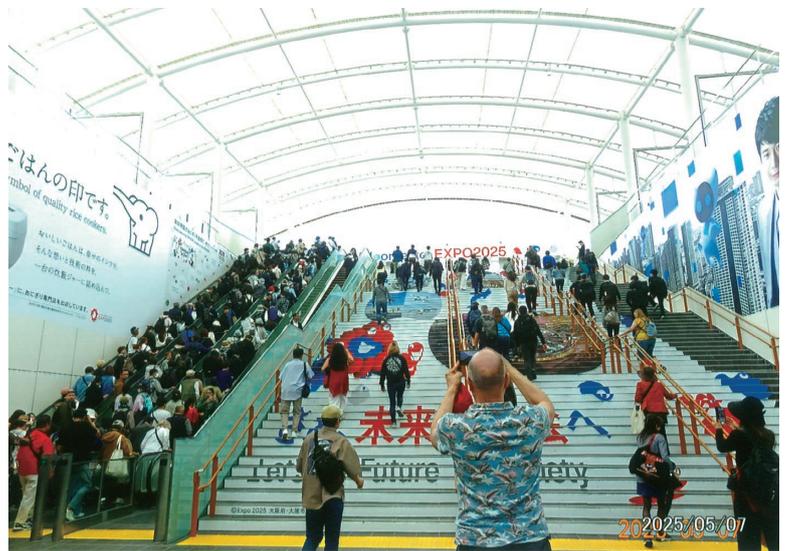
テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」

(No. 1)

とにかくどうせ行くなら早い方が良いと思ひ、5月連休の後に行つて来た。連休中は約1日13万人ぐらひは入場があつたと聞いたが、その後の平日は10万人程ではと話していた。

私の興味は何点かあるがやはり一番は木造の「大屋根リング」である。

ギネス世界記録に認定された「世界最大の木造建築物」である。真上から見た面積が6万1035.55平方メートルあるという。高さは12メートルから20メートル、幅30メートルのリングの直



新設された、大阪メトロ中央線の夢洲駅から出て、会場に向う途中の風景。



夢洲駅ホームより出た所で、東ゲートに向う通路。規模も大きく、圧倒される。



158の国と地域、7つの国際機関が出展し、世界各国の展示やイベントを披露する。入口広場に各国の国旗が風にたなびいていた。



東口ゲートの入口。荷物検査で時間がかかった。



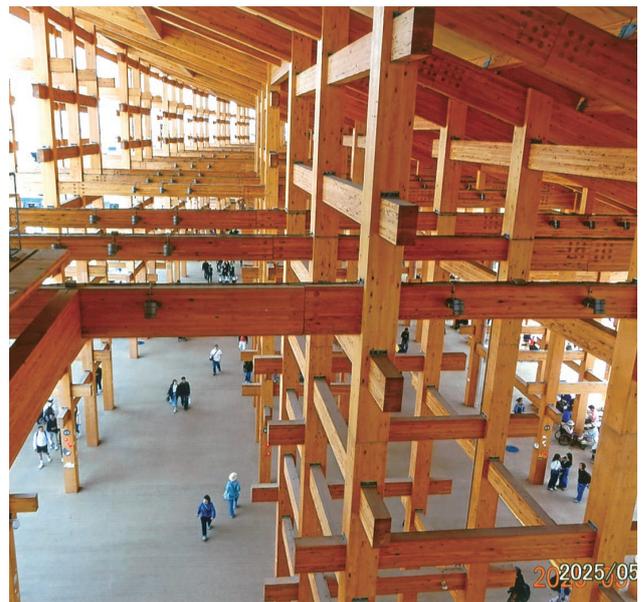
入口で荷物検査で人だかりが出来た。入場に約1時間かかった。予約時間は早くしておいた方がよい。



入場してすぐに「ミャクミャク君」がいる。うしろの方に大屋根リングが見える。



入場し、下から見あげたリングの天井部。見事な建物であった。目じるしは柱に番号がついている。



上から下を見た。すべて木造の柱やハリ部分、圧倒される。

径は約645メートル、一周約2025メートルで開催年と同じ数字としている。この大屋根リングは着工を2023年6月に始め、25年の2月27日に完成。1年と8ヶ月かかった。屋上はすべて木板でおおい、2重の場所もあって中間の所は花など植え公園風にし、板張の上をすべて歩くことができる。一周2キロメートル程ある屋上から、地上に上り下りするエスカレーターは5ヶ所程あった。この建設費は約344億円かかったようだ。このリングの発案者は会場のデザインプロデューサーで建築家の藤本壮介さんという。材木屋の我々は世界に誇る、ギネスに認定された最大の木造建築物をこの目で確認する必要があると思う。いや見た方がいい。是非おすすめしたい。このリングの建設は、大林組・清水建設・竹中工務店の3社が3等分で作られたと聞いた。各パビリオンの高さは20m以下にし、突出はない。世界平和を願い決めたという。

日本での大規模万博は2005年(平成17)の愛知博以来20年ぶりとなり、前の大阪博からは1970年(昭和45)から55年ぶり



大屋根リングに乗るエスカレーターが見える。上部は2重の部分も多く、中間は緑部分が続く。



大屋根リングの上部で2段になっており緑地部分には花等が多く植えられていた。



東ゲートより入場し、1番近い大屋根リングである。高さ20メートル、上に何人かの人が見える。

大阪は2度目の開幕となった。今回会場となる大阪市の人工島、^{ゆめしま}夢洲、会期は4月13日(日)から10月13日(月)までの会期中に2820万人の来場を想定し、うちインバウンド(訪日外国人)350万人程を見込んでいると言う。参加国や企業、自治体などが出展するパビリオンは計84館、海外からの参加する国158カ国や地域と国際機関7つなど。日を重ねるごとに入場者は増加の傾向が顕著となった。

ホテルもだんだん高くなる傾向があり、行かれるなら、早い方がベターと考える。

場内はすべて現金は使えない。食事もおみやげもすべてIC・スイカ・パスモもOKである。

各パビリオンの入場は事前予約するか、当日並ぶかの方法があるが、中には予約のみの会場もあった。日本館やアメリカ館・中国館や住友館等は予約も多く行列も長い。なかなか人気館は入場がむずかしいが、共同館「コモンズ館」はABCDEF等あって、かなりの世界の国々の人とお会いすることが出来て楽しい。また時間によって人気館も入場出来る場合もある。とにかく前向きに挑戦して見るのも実に楽しい。食事についても入館と同じく人気館での食事は大変だが早めに行って予約番号を取得する必要がある店もあった。

とにかく184日間、何回行けるか、挑戦したいと思っている。

今回は各パビリオンの紹介をします。

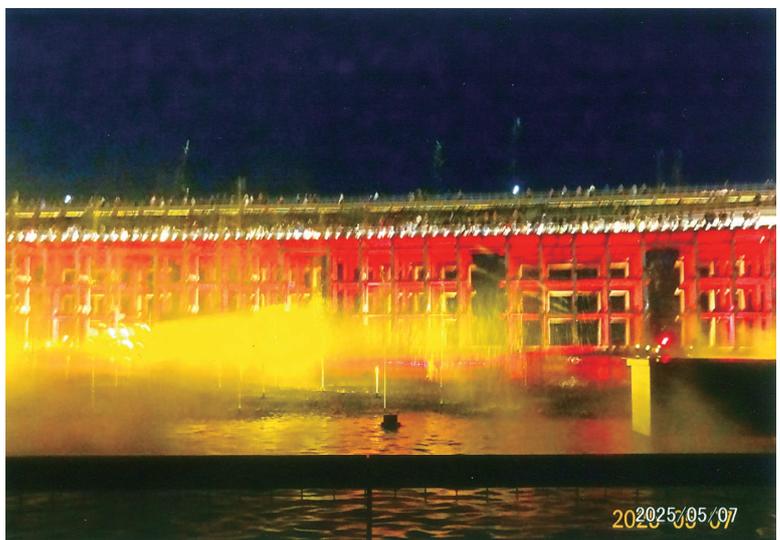
令和7年5月25日記



正面からの入口付近。リングのカーブが良くわかる。上部に人がかけが見える。



全体の5分の1ぐらい海上に大屋根リングがある。この下は車のみで人は歩けないが上部は歩いて、ウォーターショーの時、ウラから大勢の人が見ていた。



ウォーターショーでは大屋根リングが様変わり。屋上には人々が見学していた。